

授業概要

講義と実技は連続性を持ち、運動展開を完成させていく。講義時間内で目標、種目（室内競技）を決定し、おおよそ7グループに班編成、各班1回の運動展開を作成し、運動を展開出来るよう、講義、指導する。また、身体計測を通し、自己の身体的変化を観察するよう指導する。

授業計画

第1回	授業の概説、運動展開作成（目標の設定、種目の設定、班編成）
第2回	身体計測（基礎データについて）
第3回	運動展開作成（説明、グループ分け、授業展開の話し合い）
第4回	運動展開作成（授業展開の作成）
第5回	運動展開作成（授業展開の完成とシミュレーション）
第6回	班による運動展開（1班）
第7回	班による運動展開（2班）
第8回	班による運動展開（3班）
第9回	班による運動展開（4班）
第10回	班による運動展開（5班）
第11回	班による運動展開（6班）
第12回	班による運動展開（7班）
第13回	運動展開のまとめ
第14回	身体計測（比較データについて）
第15回	健康科学Ⅱまとめ
第16回	レポート提出

到達目標

授業を通して健康に重要な、運動・スポーツを多面的（やる、支える（教える））に体験し、その特徴を理解する。また、運動展開作成から展開、実技の全てを通して、コミュニケーション能力と協調性を育む。

さらに、身体計測を通して、自己の身体的変化に着目することが出来るようになる。（健康科学Ⅰと連続する者は、年間の身体的変化を観察する。）

履修上の注意

- ・実技・測定は体育館で行うので、室内シューズ、ジャージなどの適した服装で出席すること。
 - ・遅刻は正当な理由がある場合やむなく認めるが、3回で欠席1日扱いとする。
 - ・実技では十分な体調管理をして出席すること。
 - ・履修者数、環境状況により、授業内容を変更する場合がある。
 - ・グループワークが中心となることから、積極的な参加を期待する。
- （詳細はガイダンスで伝達する。）

※健康科学Ⅰの単位取得済であることが履修の条件となる。

※保育士養成課程履修者は、授業すべてに出席すること。

予習復習

日々の生活が予習であり復習となる。毎日の気づきを大切にすることで理解は深まる。また、授業展開においてはスポーツの実施や観戦が大きなヒントとなることから、日常から身体活動を心がけることを推奨する。

評価方法

授業への取り組み姿勢、運動展開と提出物等を含めた平常点（60%）、学期末レポート（40%）により評価する。

テキスト

適宜、プリントを配布する。